

令和6年度

皆野町の教育

皆野町教育委員会



各学校・幼稚園ホームページ



皆野小学校



国神小学校



三沢小学校



皆野中学校



皆野幼稚園

皆野町の教育

題字 教育長 新井 孝彦

令和6年10月発行

発行

皆野町教育委員会

埼玉県秩父郡皆野町大字皆野 1423 番地

電話 0494-62-4563 / FAX 0494-62-4571

e-mail (学校教育担当)

minano-t@chichibu.ne.jp

(社会教育担当)

syakai@town.minano.saitama.jp

目 次

町民憲章・皆野町の「木」「花」「鳥」	2
教育委員会	3
皆野町の概要	4
教育委員会の沿革	5
教育委員会の組織と事務分掌	7
教育委員会職員名簿	8
教育財政	9
教育行政重点施策	11
教育行政重点施策（皆野教育グランドデザイン）	13
みな教育プラン	14
I 学校教育	15
1. 小・中学校	15
2. 幼稚園	15
3. 園児・児童・生徒数	15
4. 児童・生徒数の推移と今後の見込み	16
5. 学校・幼稚園紹介	17
6. 学校給食センター	22
II 社会教育	23
1. 社会教育施設	23
2. 指定文化財一覧	28
3. 文化財施設	30
4. 指定文化財地図	31
III 社会体育	32
1. 社会体育施設	32
2. 学校体育施設	35
町特別職及び議会・文教関係者一覧	38
社会教育団体一覧	43

皆野町町民憲章(昭和 60 年 8 月 1 日制定)

わたくしたちは、恵まれた自然と、誇り高き歴史と伝統を守り、文化をはぐくみ、産業の隆盛と、健康で明るく、人間愛に満ちたよりよい皆野とするため、町民憲章を定めます。

- 1 自然を大切にし、潤いのある住みよい町にしよう。
- 1 教養を深め、歴史文化のかおりたかい心豊かな町にしよう。
- 1 産業を伸ばし、頑丈なたくましい活力ある町にしよう。
- 1 スポーツを楽しみ、心身を鍛え健康で明るい町にしよう。
- 1 相手を尊重し、思いやりの心で平和な町にしよう。

皆野町の「木」・「花」・「鳥」(平成 2 年 7 月 1 日指定)

いちょう(町の木)

国神地区に県が指定した天然記念物の大イチョウがあり、町の象徴とも言える木です。



合歓(町の花)

6～8 月にピンク色の花が咲き、合歓の盆には秩父音頭まつりが行われ、町民に親しまれています。



メジロ(町の鳥)

町内の山野で見ることができ、きれいな鳴き声と色をしていて町民に親しまれています。



教 育 委 員 会



飯野 教育長職務代理者



小林 委員



新井 教育長



浅見 委員



長谷河 委員

職 名	氏 名	委 員 任 期
教 育 長	新 井 孝 彦	令和6年9月22日～令和9年9月21日
教育長職務代理者	飯 野 水 男	令和6年7月1日～令和10年6月30日
委 員	小 林 歌 織	令和4年7月1日～令和8年6月30日
	浅 見 純 子	令和3年6月24日～令和7年6月23日
	長 谷 河 初 男	令和5年7月1日～令和9年6月30日

皆 野 町 の 概 要

〔位置と地勢〕

皆野町は、埼玉県の西北、秩父郡の東北部にあって、経緯の上では町の中心部が東経 139° 5'、北緯 36° 4' に位置している。

東は東秩父村に接し、北は大里郡寄居町・長瀨町・本庄市、西は児玉郡神川町、南は秩父市に接している。東西 13.5km 南北 10.5km、東西方向に細長く、羽を大きく広げた「ちょう」のような形をしている。

〔自然環境〕

東に登谷山、皇鈴山、大霧山、西に破風山、城峰山、北に宝登山があり、南に独立峰としての蓑山がある。

町の南端で赤平川を合流した荒川は上方では南から北に、途中中央部で西から東に曲折している、西部に端を発した日野沢川(金沢川を合流)は東西に流れ荒川中央部上方合流、東部に端を発した三沢川は、南北に流れ、北部で荒川に合流する。町の北端には遠く利根川へ注ぐ小山川(かつて身馴川と呼び小山川の源流、利根川水系)が金沢地域を東北方向にむかって流下している。

〔面 積〕

総面積は 63.74k m²で、その 59.0%にあたる 37.64k m²が山林原野、9.9%にあたる 6.29k m²が田畑、残りの 31.1%の 19.81k m²が宅地その他に利用されている。

〔人口・世帯数〕

令和 6 年 4 月 1 日現在の人口は、男 4,505 人、女 4,516 人、計 9,021 人、世帯数は 3,979 世帯である。

〔歴史・沿革〕

皆野に人が住みついたのは遠く縄文時代からということが遺跡やその発掘調査などから知れるが、古墳時代の遺跡も多く、金崎古墳群や特に大塚古墳などから支配者である豪族もいたことが知られる。皆野町域に関係ある郷、荘(庄)、保、領名は、大浜郷、友恒庄、白鳥庄、矢畑庄、豊原庄、武光庄であり、応永 25 年(1418)鎌倉公方足利利持氏文書に「秩父大浜」が出てくる。今の大浜を中心とした村の名前と考えられる。天正 17 年(1589)の北条氏邦文書に「皆野」が出てくる。三沢の八幡大神社の慶長 9 年(1604)棟札には三沢村、皆野村、下田野村などの村名もみられる。

近世には天領、藩領、旗本領となり、正保期には 7 か村、明治には 9 か村(皆野、下田野、野巻、大渕、金崎、金沢、上日野沢、下日野沢、三沢)となった。

明治 4 年 11 月に入間県の管轄となり、同 5 年の区制実施に際しては、第 10 大区第 3、4 小区と第 11 大区第 5、6、7 小区に属した。明治 6 年入間県は熊谷県となり、同 9 年 8 月埼玉県に編入された。

明治 22 年 4 月の町村制施行により、皆野、国神、金沢、日野沢、三沢村の 5 か村と白鳥村に属した下田野と 6 か村となる。昭和 3 年 11 月皆野村は町制を施行し皆野町となる。同 18 年 9 月戦時下の町村合併策に皆野町、国神村、日野沢村、金沢村、三沢村、太田村の 6 か町村と白鳥村大字下田野は分村の上、合併して美野町となったが、同 21 年 12 月に旧 6 か町村が分離し旧村に復しそれぞれの旧村名を名のった。下田野村は皆野町に合併した。

昭和 30 年 3 月皆野町、国神村、金沢村、日野沢村が合体合併して町名を皆野町とした。同 32 年 3 月には三沢村を編入合併した。現在 10 大字、字名は明治 22 年町村制施行前の 9 町村と 30 年合併時に金崎を分割新設した国神である。

教育委員会の沿革

昭和 30 年 2 月 28 日、皆野町、国神村、金沢村、日野沢村において各々教育委員会(昭和 27 年 10 月公選による 4 名の委員と議会選出委員 1 名により組織)が開催され、新しく設置する皆野町の教育委員会を構成する代表の委員を選任する。皆野町・小林泰永氏、国神村・久米龍策氏、金沢村・四方田喜平氏、日野沢村・新井武信氏、新しく設置される町議会からは金子栄助氏が選出された。

昭和 30 年 3 月 1 日午前 9 時、皆野町農協 2 階会議室に新しく設置された教育委員会が招集された。互選により、委員長・小林泰永氏、副委員長・久米龍策氏と決定、教育長は皆野町立皆野中学校長・島田光次氏が選任され兼任した。

翌昭和 31 年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年 10 月 1 日から施行)」の制定により、委員の任命制となり新しく町長より次の者が議会の同意を得て任命された。法にもとづき第 1 期の任命は逐年任期を設けての任命であり、金子元春氏を 1 年、久米龍策氏、新井武信氏 3 年、青木文夫、真々田穰三氏を 4 年として任命された。

昭和 32 年 3 月 31 日、三沢村編入合併により、旧三沢村からの要望で教育委員の組織に議決権をもたない、情報提供と意見をのべることのできる教育委員協力員を設置することとなり、福島菊弥氏が任命された。昭和 32 年 9 月 30 日、金子元春氏の任期満了による退職により、後任として福島菊弥氏が教育委員に任命された。

任期期限付の任命は一度に委員の改選のないよう設けられた制度であり、途中で退職した委員もあったが逐年任期を終了するかたちは継続されている。

なお、教育長の設置については、法改正とも関連して昭和 30 年 3 月より昭和 33 年 9 月までの間に 5 名の教育長の交替がみられたことは特筆される。

平成 27 年 4 月 1 日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育委員会制度の抜本的な改革が行われた。教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」任期 3 年、首長が議会の同意を得て直接任命、常勤。教育委員は任期 4 年、首長が議会の同意を得て直接任命、非常勤。

首長は新「教育長」の任命のほか、「総合教育会議」の設置、「大綱」の策定を行うことになった。

◎歴代教育長一覧

島田 光次	S30. 3. 1～S30. 8. 31
宮原 初雄	S30. 9. 1～S31. 5. 28
島田 光次	S31. 6. 1～S31. 9. 30
中庭 怡与造	S31. 10. 1～S32. 3. 31
金子 元春	S32. 4. 1～S32. 9. 30
青木 文夫	S32. 10. 1～S33. 9. 25
久米 弁作	S33. 10. 1～S41. 9. 30
職務代理	S41. 10. 1～S42. 1. 31
久米 弁作	S42. 2. 1～S46. 1. 24
職務代理	S46. 1. 25～S46. 9. 21
門平 武夫	S46. 9. 22～S50. 9. 21
根岸 忠明	S50. 9. 22～S58. 9. 21
職務代理	S58. 9. 22～S58. 10. 14
山下 護助	S58. 10. 15～H 3. 9. 21
職務代理	H 3. 9. 22～H 3. 10. 16
小見山 武彦	H 3. 10. 17～H 6. 4. 30
職務代理	H 6. 5. 1～H 6. 5. 26
大沼 一安	H 6. 5. 27～H11. 9. 21
茂木 吾郎	H11. 9. 22～H18. 3. 31
職務代理	H18. 4. 1～H18. 6. 1
山口 喜一郎	H18. 6. 2～H27. 9. 21
豊田 尚正	H27. 9. 22～R 2. 11. 30
新井 孝彦	R 2. 12. 1～現在

◎歴代教育委員一覧

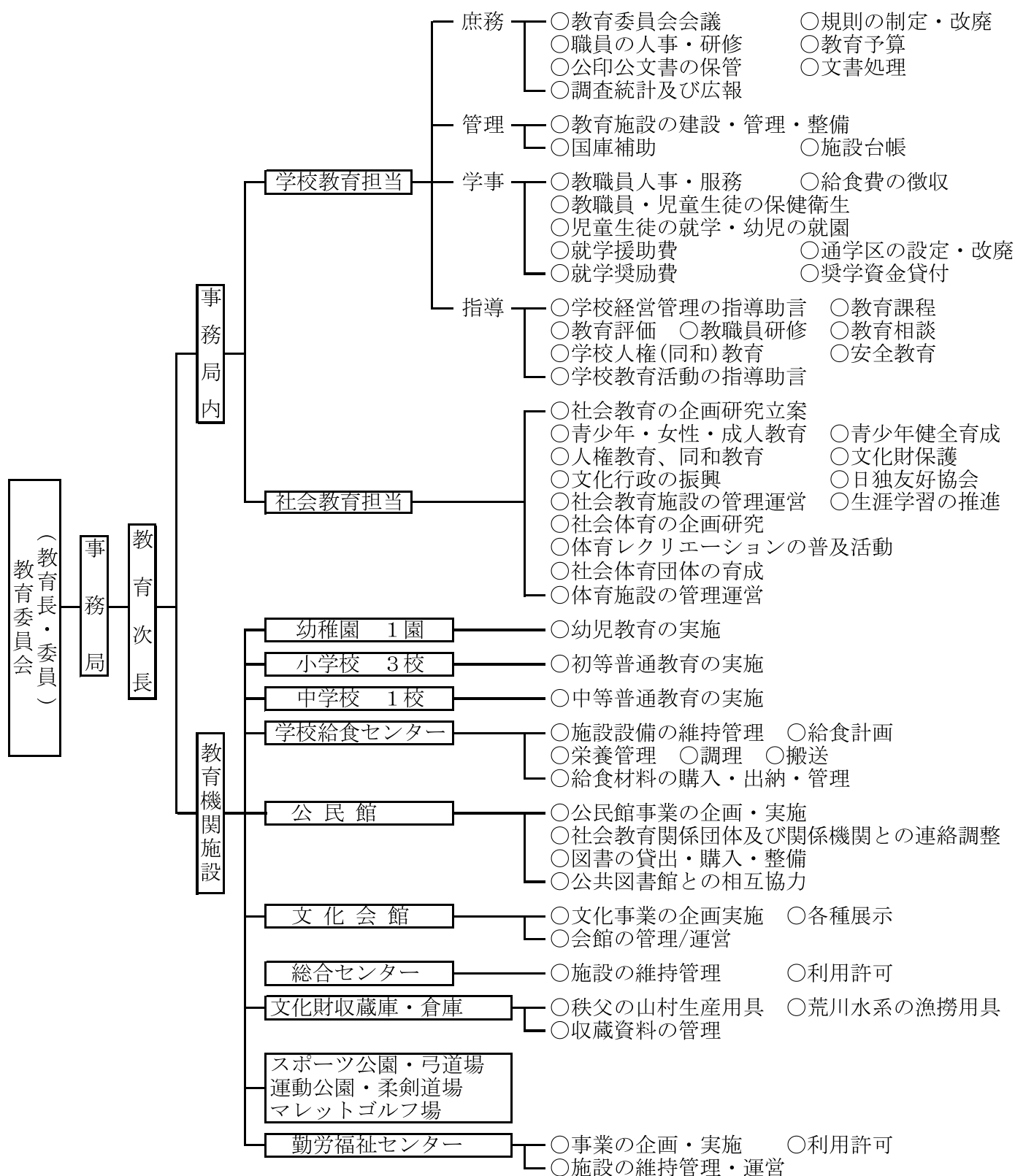
小林 泰永	S30. 3. 1～S31. 9. 30	委員長
久米 龍策	S30. 3. 1～S31. 9. 30 S31. 10. 1～S33. 9. 30	委員長
四方田 喜平	S30. 3. 1～S31. 9. 30	
新井 武信	S30. 3. 1～S34. 9. 30	
金子 栄助	S30. 3. 1～S31. 9. 30 S35. 11. 24～S38. 5. 5	
金子 元春	S30. 10. 1～S32. 9. 30	
真々田 穰三	S31. 10. 1～S33. 9. 25	
青木 文夫	S31. 10. 1～S33. 9. 25 S52. 6. 24～S55. 12. 24 S55. 12. 25～S56. 6. 23	委員長
福島 菊弥	S32. 3. 31～S32. 9. 30 S32. 10. 1～S36. 9. 30	協力員
門平 文作	S33. 9. 27～S35. 2. 13	委員長
四方田 賢	S33. 9. 27～S35. 2. 13	
久米 弁作	S33. 10. 1～S41. 9. 30 S42. 1. 25～S46. 1. 24	

教育委員会の沿革

大久保 堅端	S34. 10. 1～S35. 2. 13 S35. 2. 14～S47. 10. 31	委員長
飯島 虎	S35. 11. 24～S39. 11. 23 S40. 1. 8～S43. 1. 7	
野沢 一義	S36. 10. 1～S48. 9. 30	
門平 武夫	S38. 7. 30～S46. 7. 29 S46. 9. 22～S50. 9. 21	
山崎 隆雄	S43. 3. 5～S48. 3. 4 S48. 3. 27～S52. 3. 26	委員長
平 太郎	S46. 9. 22～S50. 9. 21	
黒沢 重治	S47. 12. 25～S52. 3. 26 S52. 3. 27～S55. 12. 24	委員長
福島 秀雄	S48. 10. 15～S55. 1. 18	
根岸 忠明	S50. 9. 22～S58. 9. 21	
逸見 清久	S50. 9. 22～S56. 6. 23 S56. 6. 24～S57. 8. 31	委員長
野沢 徳平	S55. 3. 12～S58. 3. 22 S58. 3. 23～S63. 3. 11	委員長
持田 茂雄	S55. 12. 25～S63. 3. 11 S63. 3. 12～H 4. 12. 24	委員長
金子 千侍	S56. 6. 24～S57. 6. 30 S57. 7. 1～S58. 3. 22 H 4. 3. 16～H 6. 5. 12	委員長
山下 光男	S57. 9. 20～H 3. 9. 21	
岩上 源了	S58. 6. 24～H 4. 1. 31	
山下 護助	S58. 9. 22～H 3. 9. 21	
福島 義一	S63. 3. 14～H 4. 12. 24 H 4. 12. 25～H 9. 2. 28	委員長
永田日出夫	H 3. 9. 22～H 9. 2. 28 H 9. 3. 1～H19. 9. 21	委員長
小見山 武彦	H 3. 9. 22～H 6. 4. 30	
新井 瑞男	H 4. 12. 24～H 6. 5. 12	
式守 悦二郎	H 6. 5. 20～H12. 12. 23	
金子 榮之助	H 6. 5. 20～H19. 9. 21 H19. 9. 22～H21. 6. 23	委員長
大沼 一安	H 6. 5. 20～H11. 9. 11	
福島 弘	H 9. 3. 17～H15. 2. 18	
茂木 吾郎	H11. 9. 22～H18. 3. 31	
四方田 甫	H12. 12. 24～H20. 12. 23	
横田 敏明	H15. 6. 18～H20. 3. 16	
山口 喜一郎	H18. 6. 1～H27. 9. 21	
新井 清永	H19. 9. 22～H21. 6. 23 H21. 6. 24～H27. 9. 21	委員長
新井 エク代	H20. 3. 17～H27. 10. 1 H27. 10. 2～H28. 3. 16	教育長職務代理者
設楽 恭子	H20. 12. 24～H24. 12. 2	
若林 光雄	H21. 6. 24～H23. 9. 30	

小笹 昭二	H23. 12. 14～R27. 9. 21 H28. 3. 17～R 3. 6. 23	教育長職務代理者
飯野 水男	H24. 12. 24～R 5. 6. 30 R 5. 7. 1～現在	教育長職務代理者
横田 有正	H27. 9. 22～H28. 12. 31	
野口 桂子	H28. 3. 17～H30. 6. 30	
堀口 元近	H29. 1. 1～R 3. 6. 23 R 3. 6. 24～R 5. 6. 30	教育長職務代理者
小林 歌織	H30. 7. 1～現在	
浅見 純子	R 3. 6. 24～現在	
長谷河初男	R 5. 7. 1～現在	

教育委員会の組織と事務分掌



○委員会・協議会等

就学支援委員会
社会教育委員
学校給食センター運営委員会
スポーツ推進委員

学校運営協議会
社会教育委員
文化財保護審議委員会
青少年相談員協議会・青少年育成推進団体

人権教育推進協議会
公民館運営審議会
勤労福祉センター運営委員会

○教育委員会事務局（17人）

教 育 次 長	白石 純一
指導主事兼主席主幹	坂本 文孝
主 幹	二ノ宮 誠
（学校教育担当）	
主 査	太幡 幸恵
主 査	小池 賢二
主 任	小池 祐輝
主 事	金次 芙美
学校教育指導員 兼教育相談員 特別支援教育 指導員	石間戸 久幸
非常勤講師	黒須 文夫
非常勤講師	新井 伸子
スクールソーシャル ワーカー	千島 真（県）
スクールカウンセラー	矢沼 千鶴（県）
スクールカウンセラー	和久井麻依子（県）
（社会教育担当）	
主 査	鈴木 宏宗
主 査	望月 暁
主 事	桜沢 真斗
文化財管理支援員	大塚 宏

○皆野幼稚園（11人）

園 長	鈴木 秀太郎
副 園 長	島野 弥生
教 諭	澤野 さなえ
教 諭	若林 聡子
教 諭	根本 理恵
教 諭	宮原 麻依
教 諭	大澤 苑加
教 諭	小林 香織
保育支援員兼 預かり保育員	石渡 裕子
園 務 員	戸田 宗孝
保育支援員	齊藤 真由美

○皆野小学校（9人）

校務員兼SSS	大森 弘子
学習支援員	金子 純子
学習支援員	志賀 佳苗
学習支援員	野村 弘子
学習支援員	富田 佳子
学習支援員	山中 喜美子
図書支援員	榎本 紀子
図書支援員	高橋 知美
事 務 職 員	浅見 晴美

○国神小学校（6人）

非常勤講師	吉田 泰子
非常勤講師	鈴木 智子
非常勤講師	矢尾 雅美
校務員兼SSS	小林 有里
学習支援員	黒澤 望美
学習支援員	加藤 明枝

○三沢小学校（3人）

非常勤講師	新井 敏夫
非常勤講師	田中 由美
校務員兼SSS	黒澤 まゆみ

○皆野中学校（7人）

主 査	大澤 百代
非常勤講師	新井 未来
非常勤講師	田島 明日香
さわやか相談員	黒澤 和美
校務員兼SSS	設楽 裕美
学習支援員	加藤 弘子
図書支援員	金室 翼

○公民館・総合センター（5人）

館長兼所長	白石 純一
主 任	神田 浩典
主 任	染野 茂樹
主 任	大澤 翔
事 務 職 員	根岸 美恵子

○学校給食センター（16人）

所 長	持田 和久
主 幹	鈴木 勝
栄 養 教 諭	真下 美奈子（県）
給食調理員	堀口 洋子
給食調理員	和田 美佐子
給食調理員	女部田 郁子
給食調理員	大浜 元美
給食調理員	吉岡 美代
給食調理員兼 配送車運転	柴崎 恵美
給食調理員	深田 佐恵子
給食調理員	森田 真澄
給食調理員	前田 美穂
給食調理員	小池 佳美
給食調理員兼 配送車運転	岩上 正人
給食調理員兼 配送車運転	浅見 芳弘
給食調理員 （配送車運転）	堀口 武

○勤労福祉センター（5人）

所 長	齋藤 和幸
監 視 員	田野 幸子
監 視 員	浅見 光代
監 視 員	吉岡 芳恵
事 務 職 員	原田 はるみ

職員数（実人員数）

78人（うち県職員兼務4人）

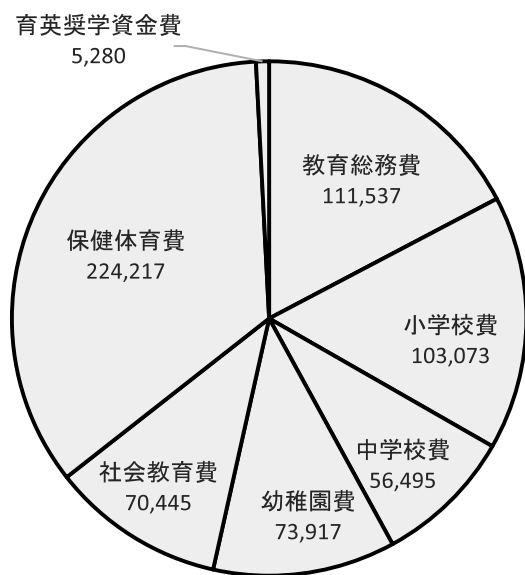
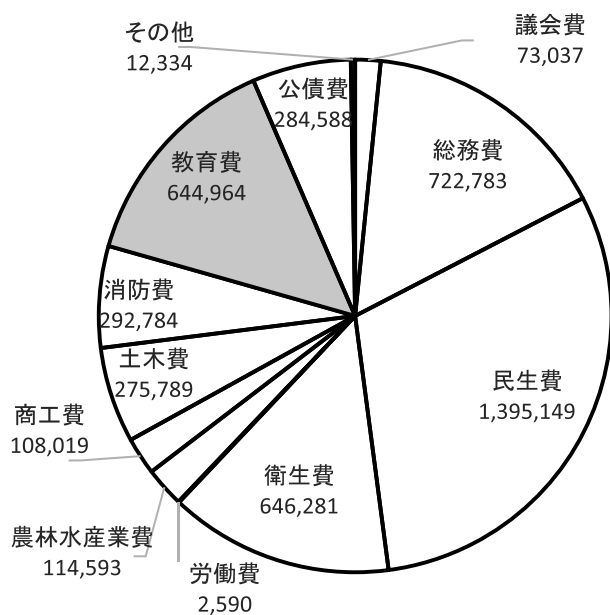
教 育 財 政

1. 教育費 補正予算第1号まで（令和6年度）

（単位：千円）

項目(項)	予算額	割 合	項目(節)	予算額	割 合
教育総務費	111,537	17.3%	教育委員会費	676	0.1%
			事務局費	110,861	17.2%
小学校費	103,073	16.0%	学校管理費	99,289	15.4%
			教育振興費	3,784	0.6%
中学校費	56,495	8.8%	学校管理費	49,691	7.7%
			教育振興費	6,804	1.1%
幼稚園費	73,917	11.5%	幼稚園管理費	73,917	11.5%
社会教育費	70,445	10.9%	社会教育総務費	23,301	3.6%
			公民館費	10,562	1.6%
			文化財保護費	7,632	1.2%
			総合センター費	19,813	3.1%
			文化会館費	9,137	1.4%
保健体育費	224,217	34.8%	保健体育総務費	26,374	4.1%
			学校給食費	133,053	20.6%
			温水プール費	50,644	7.9%
			柔剣道場・学童 保育所複合施設費	14,146	2.2%
育英奨学資金費	5,280	0.8%	育英奨学資金費	5,280	0.8%
合 計	644,964	100.0%		644,964	100.0%

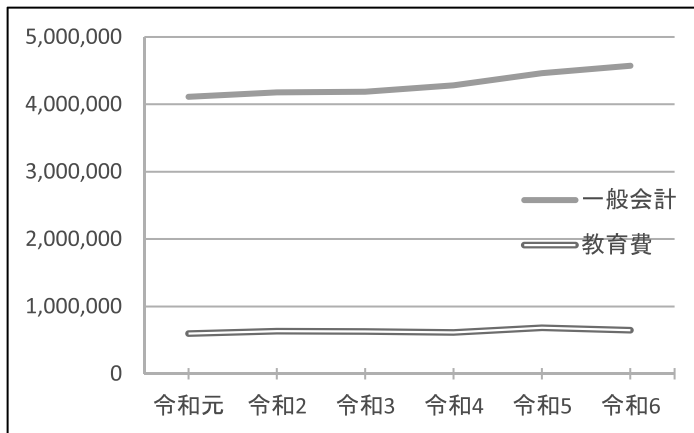
2. 一般会計にしめる教育費



3. 一般会計と教育費の推移

(単位:千円)

年度	一般会計	教育費
令和元	4,111,780	596,559
令和2	4,179,700	634,211
令和3	4,189,000	626,214
令和4	4,280,000	614,399
令和5	4,463,000	682,796
令和6	4,572,911	644,964



4. 人口一人当たりの教育費

(単位:円)

5月1日 人口	教育費	教育総務費	小学校費	中学校費
9,021 人	71,663	12,364	11,453	6,277

幼稚園費	社会教育費	保健体育費	育英奨学資金費
8,194	7,809	24,913	587

5. 児童一人当たりの教育費

(単位:円)

5月1日 児童数	学校管理費	教育振興費	計
344 人	288,631	11,000	299,631

6. 生徒一人当たりの教育費

(単位:円)

5月1日 生徒数	学校管理費	教育振興費	計
234 人	212,355	29,077	241,432

7. 園児一人あたりの教育費 (単位:円)

5月1日 園児数	幼稚園管理費
31 人	2,384,419

教育行政重点施策

第5次皆野町総合振興計画（平成29年度－令和8年度）の具現化に向けて

I まちづくりの主要目標

豊かな心と多彩な文化を育むまち【教育・文化の向上】

まちづくりの中心は「ひとづくり」です。子どもの個性と創造性を伸ばし、知育・徳育・体育を充実させた「生きる力」を育む教育により、豊かな心を持ったひとづくりを推進します。また、地域の伝統芸能・文化活動は本町の貴重な財産であり、郷土愛の醸成にもつながっています。先人たちが伝えた伝統文化の保存・継承のため、多彩な文化を育むまちを目指します。

II 基本理念

心にふるさとと夢を宿し、生きる力を培う教育と文化の町をめざす皆野教育

III 推進する施策（基本目標）

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1 確かな学力と自立する力の育成 | 2 豊かな心と健やかな体の育成 |
| 3 質の高い教育環境の整備 | 4 伝統文化継承と文化財保護・活用の推進 |
| 5 「ひと」が輝くまちづくり | 6 ふるさと教育「みならの学」とキャリア教育の推進 |

IV 重点施策

1 確かな学力と自立する力の育成
① 一人ひとりの学力を確実に伸ばす教育の推進
ア 「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けた授業改善
イ ICTの効果的な活用の推進
ウ 家庭学習習慣化の推進
② 基礎基本の定着と思考・判断・表現力を養う教育の推進
ア 基礎学力の確実な定着
イ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
ウ 学校司書・図書支援員を活用した学校図書館教育の充実
③ 幼・小・中一貫教育の推進
ア 特別支援教育の推進
イ 教育相談・生徒指導に係る小中連携の推進
2 豊かな心と健やかな体の育成
① 幼児教育の充実
ア 魅力ある幼稚園づくりの研究
イ 豊かな自然とふれあい元気な心身を育む園庭の整備
ウ 人間の根っこづくり「乗り越える力」「たくましい力」の育成
エ 関係機関による情報交換の実施
② 全教育活動を通じた人権教育・道徳教育の推進
ア 皆野っ子生活のめあて（あいさつ・返事・時間・姿勢）の普及啓発
イ 自他を認める人権感覚を育む人権教育の充実
ウ 道徳教育の推進
エ 学校人権教育に係る教員の指導力の向上
③ 生徒指導・教育相談の充実
ア 関係機関などと連携したいじめ・不登校対策の充実
イ 教育相談員を活用した教育支援センターの充実
④ 食育の推進
ア 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
イ 栄養教諭を活用した食育授業の実践
ウ 生きた食育活動と子どもたちの健やかな成長の拠点として魅力ある給食センターづくりの推進

⑤ 生涯スポーツ・地域スポーツの推進 - ア スポーツ推進委員等による町内スポーツの振興 - イ マレットゴルフをはじめとした生涯スポーツの推進 - ウ 町体育施設の効果的活用と利用しやすい環境づくり - エ 町内をフィールドとしたイベントなどの事業の充実
3 質の高い教育環境の整備 ① 子どもたちの安全・安心の確保 - ア 健康教育の充実 - イ 防災教育・交通安全教育の充実 - ウ 家庭や地域と連携した地域の見守り体制の充実 ② 教職員の資質向上 - ア ICT活用指導力の向上に向けた研修とサポート体制の充実 - イ 指導主事・学校教育指導員による指導助言および研修体制の充実 - ウ 教職員不祥事根絶のための計画的・組織的な取組の推進 - エ 特別支援教育指導員などを活用した就学支援体制の充実 ③ 学習環境の整備・充実 - ア 多様な学習方法・教育活動に対応した学校施設・設備の整備・充実 - イ 施設長寿命化計画に基づく老朽化対応・長寿命化改修 ④ 地域と連携した教育の推進 - ア 学校における働き方改革の推進 - イ コミュニティ・スクールによる地域との連携・協働
4 伝統文化継承と文化財保護・活用の推進 ① 郷土芸能などの継承者の育成 - ア 伝統と文化を尊重する教育の推進 - イ 後継者育成の推進 ② 文化財の保護・活用 - ア 文化財の調査・記録・保存の推進 - イ 案内板などの充実および見学場所としての活用の推進 - ウ 歴史・文化を体系的に学ぶカリキュラム作成、出前授業の実施、各種講座や企画展の開催 ③ 文化・芸術活動の振興 - ア 文化会館を活用した文化芸術公演の推進 - イ 文化芸術活動を通じた町民交流の促進
5 「ひと」が輝くまちづくり ① 人権・同和対策の推進 - ア 同和問題をはじめとした、あらゆる人権問題を解決するための人権教育・人権啓発活動の推進 - イ 差別意識や偏見解消のため、正しい知識・理解を深める研修会などの啓発事業の推進 - ウ 教職員が人権問題を認識し、子どもたちが主体的に行動できる教育の推進 ② 男女共同参画社会の実現 - ア 男女平等を実現する啓発活動の推進 - イ 教職員への研修機会の確保 ③ 国際理解教育・国際交流の推進 - ア 異文化理解を深める活動の推進 - イ 修学旅行などにおける外国人との交流
6 ふるさと教育「みならの学」とキャリア教育の推進 ① ふるさと教育「みならの学」の推進 - ア 幼稚園、小中学校一貫キャリアカリキュラム（みならの学）の推進 ② キャリア教育・職業教育の推進 - ア 幼稚園・小中学校におけるキャリア教育の推進 - イ キャリアパスポートをとおした小中学校の連携の推進 - ウ 職場体験をはじめさまざまな体験活動を通じた勤労観・職業観の醸成 ③ グローバル化に対応した外国語教育の推進 - ア 英語によるコミュニケーション能力の育成 - イ 幼・小・中一貫した外国語活動、外国語科、英語科カリキュラムの推進



基本理念

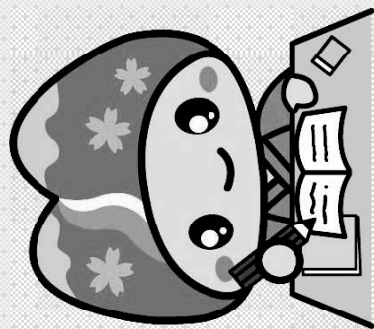
令和6年度 皆野町教育行政 重点施策



心にふるさとと夢を宿し、生きる力を培う教育と文化の町の町をめざす皆野教育

- 1 確かな学力と自立する力の育成
- 2 豊かな心と健やかな体の育成
- 3 質の高い教育環境の整備
- 4 伝統文化継承と文化財保護・活用の推進
- 5 「ひと」が輝くまちづくり
- 6 ふるさと教育「みな」の学」とキャリア教育の推進

一人ひとりの学力を確実に伸ばす教育の推進	子どもたちの安全・安心の確保	学習環境の整備・充実	男女共同参画社会の実現
◆「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現に向けた授業改善 ◆ICTの効果的な活用の推進 ◆家庭学習学習習慣の推進	◆健康教育の充実 ◆防災教育・交通安全教育の充実 ◆家庭や地域と連携した地域の見守り体制の充実	◆多様な学習方法・教育活動に対応した学校施設・設備の整備・充実 ◆施設長寿命化計画に基づく老朽化対応・長寿命化改修	◆男女平等を実現する啓発活動の推進 ◆教職員への研修機会の確保
基礎基本の定着と 思考・判断・表現力を養う教育の推進	教職員の資質向上	地域と連携した教育の推進	人権・同和教育の推進
◆基礎学力の確実な定着 ◆主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ◆学校司書・図書支援員を活用した学校図書館教育の充実	◆ICT活用指導力の向上研修とサポート体制の充実 ◆指導主事・学校教育指導員による指導助言および研修体制の充実 ◆教職員不祥事根絶のための取組の推進 ◆特別支援教育指導員などを活用した就学支援体制の充実	◆学校における働き方改革の推進 ◆コミュニティ・スクールによる地域との連携・協働 ◆地域クラブ活動の推進	◆同和問題をはじめとしたあらゆる人権問題を解決するための活動の推進 ◆差別意識や偏見を解消するため、正しい知識・理解を深める研修会などの啓発事業の推進 ◆教職員が学校教育における人権問題を認識し、子どもたちが主体的に行動できる教育の推進
幼・小・中一貫教育の推進	生徒指導・教育相談の充実	郷土芸能などの継承者の育成	国際理解教育・国際交流の推進
◆特別支援教育の推進 ◆教育相談・生徒指導に係る幼小中連携の推進	◆関係機関など連携したいじめ・不登校対策の充実 ◆教育相談員を活用した教育支援センターの充実	◆伝統と文化を尊重する教育の推進 ◆後継者育成の推進	◆異文化理解を深める活動の推進 ◆修学旅行などにおける外国人との交流
幼児教育の充実	食育の推進	文化財の保護・活用	ふるさと教育「みな」の学」の推進
◆魅力ある幼稚園づくりの研究 ◆豊かな自然と触れ合い、元気な心身を育む園庭 ◆人間の根っこづくり「乗り越える力」「たくましい力」の育成 ◆関係機関による情報交換の実施	◆「早寝・早起き・朝ごはん」の推進 ◆栄養教諭を活用した食育授業の実践 ◆生じた食育活動と子どもたちの健やかな成長の拠点として魅力ある給食センターづくりの推進	◆文化財の調査・記録・保存の推進 ◆案内板等の充実や見学場所としての活用の推進 ◆歴史・文化を体系的に学ぶカリキュラムの作成、出前授業の実践、各種講座や企画展の開催	◆幼稚園・小中学校一貫キャリアカリキュラム「みな」の学」の推進 ◆SDGsの実現に向けた教育推進 ◆早稲田大学との連携
全教育活動を通じた人権教育・道徳教育の推進	生涯スポーツ・地域スポーツの推進	文化・芸術活動の振興	キャリア教育・職業教育の推進
◆皆野っ子生活のめあて(あいさつ・返事・時間・姿勢)の普及啓発 ◆自他を認め合う人権感覚を育む人権教育の充実 ◆道徳教育の推進 ◆学校人権教育に係る教職員の指導力の向上	◆スポーツ推進委員会等による町内スポーツの振興 ◆マレットゴルフをはじめとした生涯スポーツの推進 ◆町体育施設の効果的活用と利用しやすい環境づくり ◆町内をフィールドとしたイベントなどの事業の充実	◆文化会館を活用した文化芸術公演の推進 ◆文化芸術活動を通じた町民交流の促進	◆幼稚園・小中学校におけるキャリア教育の推進 ◆キャリアパスポートをとおした小中学校の連携の推進 ◆職場体験をはじめさまざまな体験活動を通じた勤労観・職業観の醸成
			グローバル化に対応した外国語教育の推進
			◆英語によるコミュニケーション能力の育成 ◆幼・小・中一貫した外国語活動、外国語科、英語科カリキュラムの推進



みほの教育

プ

ラ

ン

～心にふるさとと夢を宿し、

生きる力を培う教育と文化の町をめざす皆野教育～

夢の実現のために、「生きる力」を身につけましょう！

〈家庭へのお願い〉

- ・学校でのできごとを家庭で話し合しましょう
- ・子供のがんばりをほめて、認めましょう
- ・夢や目標を家庭で一緒に考えましょう
- ・家庭でルールを決めて、守れるようにしましょう
- ＜低学年＞
 - ・一緒に時間割を確認し、忘れ物をなくしましょう
- ＜中学年＞
 - ・一緒に宿題や提出物を確認しましょう
- ＜高学年、中学生＞
 - ・声かけと見守りをしましょう

確かな学力	豊かな心	健やかな体	自立する力
○宿題＋自主学習 皆野っ子自主学習 ノート5冊クリア 【学習時間】 小1 20分以上 小2 30分以上 小3 40分以上 小4 50分以上 小5 60分以上 小6 70分以上 中1 80分以上 中2 90分以上 中3 100分以上 ○中学校卒業までに 英検3級合格	○皆野っ子 生活のめあて ・あいさつ、返事 ・時間を守る ・姿勢を正す ○友だちと 仲良くできる子 ○本をたくさん読む子 ○皆野町を愛する子	○はや寝・はや起き・朝ごはん 【すいみん時間】 低学年 10時間 中学年 8～9時間 高学年 8～9時間 中学生 7～8時間 ※夜遅くまでテレビや動画を見たり、ゲームをしたりはしません ○外遊びをする子	○交通ルールを守る子 ○自分の身は自分で守る子 ○インターネットを正しく使う子 ※決められた時間以外には使いません ○将来を考えられる子

一人一台のChromebookを活用して、より楽しく、より深く、仲間と一緒に生活を豊かにしていこう！
また、情報活用能力も高めましょう！

I 学 校 教 育

1. 小・中学校（令和6年4月1日現在）

学 校 名	校 長 名	所 在 地	電 話
皆野小学校	坂 本 勉	皆野町大字皆野 1346 番地	0494-62-0053
国神小学校	本 多 斎 士	皆野町大字大淵 70 番地 1	0494-62-0579
三沢小学校	吉 田 浩	皆野町大字三沢 1606 番地	0494-65-0123
皆野中学校	板 倉 邦 弘	皆野町大字皆野 2244 番地 2	0494-62-0432

2. 幼稚園（令和6年4月1日現在）

園 名	園 長 名	所 在 地	電 話
皆野幼稚園	鈴 木 秀太郎	皆野町大字国神 639 番地	0494-62-1333

3. 園児・児童・生徒数（令和6年5月1日現在）（単位：人）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合 計
皆野小学校	44	45	47	41	51	44	272
国神小学校	7	9	6	8	10	11	51
三沢小学校	2	3	3	4	5	4	21
計	53	57	56	53	66	59	344

	1 年	2 年	3 年	合 計
皆野中学校	76	73	85	234

	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
皆野幼稚園	5	12	14	31

4. 児童・生徒数の推移と今後の見込み（令和6年5月1日現在）（単位：人）

学 校	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度
皆野小学校	338	326	306	290	285	272	271	253	251	238	216
国神小学校	81	73	75	65	62	51	47	40	37	37	30
三沢小学校	39	35	34	29	24	21	21	19	16	17	17
計	458	434	415	384	371	344	339	312	304	292	263
皆野中学校	213	217	223	240	230	234	208	201	178	175	166
合 計	671	651	638	624	601	578	547	513	482	467	429



苗植え(幼稚園)



元気に砂場遊び(幼稚園)



元気にボール遊び(幼稚園)



端末を使った体育授業(小学生)



新体力テスト(小学生)

5. 学校・幼稚園紹介

皆野町立皆野小学校



所在地 皆野町大字皆野1346番地
電話 0494-62-0053・FAX 0494-62-0857
学校HP https://www.town.minano.saitama.jp/es_minano/
e-mail minano-e@chichibu.ne.jp
児童数 男 143 女 129 計 272
学級数 普通 12 特支 2 計 14
教職員数 男 13 女 21 計 34

【施設】

教室数 普通教室14、特別教室10、計24教室
校地面積 17,122㎡
校舎面積 4,991㎡
運動場面積 9,050㎡
体育館面積 1,054㎡
プール面積 325㎡

【教育目標】

◎「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」

○目指す児童像

☆え 笑顔で なかのよい子
☆の のびのび たくましい子
☆き 気づき 考える子

【経営方針】

○目指す学校像

「笑顔・誇り・信頼のある学校」

○経営方針

【経営の基盤】

～「わくわく・いきいき」

夢と感動のあふれた学校づくり～

◎学ぶ楽しさと豊かな心が育つ学校づくり

・生きる力をはぐくむ教育課程の創造

【確かな学力の育成】

・自分を大切にし、他人を思いやる温かい心の育成

【生徒指導、心の教育の充実】

・自己有用感を育て一人一人の子どもを伸ばす教育

【認め、励まし、個性を生かす実践】

◎教職員が協働できる学校づくり

・教職員の意識改革

【教育愛と使命感に基づく協働体制】

・校内研修の充実

【同僚性と授業改善】

・協働体制の確立

【組織による課題解決】

◎保護者や地域から信頼される学校づくり

・うるおいのある生活の場としての内外環境整備

【環境整備・危機管理】

・学校・家庭・地域社会の連携

【信頼関係を礎にした共有】

・開かれた学校づくりの推進

【積極的な双方向の情報交換】



○目指す教師像

「教職への誇りと情熱をもち、
子どもと真剣に向き合う教職員」

- ①教育への情熱や使命を持ち、子供たちと共に学び成長し続ける教師
- ②子どもを向上・変容させる指導力のある教職員
- ③保護者や地域の願いに応え、公正で品位のある教師
- ④報告・連絡・相談・確認を迅速に行い、組織的に対応できる教師

【重点・努力点】

○「一人一人の学力の向上」

- ①系統性を踏まえた「これだけは身に付けさせたい」基礎的・基本的な内容の定着
- ②やる気を引き出す魅力ある授業の工夫
- ③家庭と連携した望ましい学習習慣の確立

○「思いやりと規律ある態度の育成」

- ①生徒指導年間重点指標「あいさつ・へんじ・しせい」の醸成
- ②互いに認め合い、高め合う学年・学級経営の充実
- ③いじめを見逃さない、許さない友だち関係の醸成と組織的対応

○「体力の向上と健康安全意識の育成」

- ①体力向上重点指標「握力の向上」
- ②「家庭教育宣言」に基づき、家庭とも連携した規則正しい生活習慣の醸成
- ③児童事故ゼロを目指す安全指導の徹底
- ④児童の健康管理の徹底

【研究主題】

○「算数科における学力向上を目指した
学習指導の研究」
～共に学び合う児童の育成を目指して～

【学校の特徴】

- 小学校における教科担任制を実施している。
- 国や県の学力・学習状況調査の結果を分析し、状況に応じた学力向上取組を行っている。
- 「みな学」として地域人材の積極的活用と地域に根ざした学校・ネットワークづくりに努めている。
- 開放的な校舎や多目的教室を有効に活用した活動に取り組んでいる。

皆野町立国神小学校



所在地 皆野町大字大淵70番地1
電話 0494-62-0579・FAX 0494-62-5044
学校HP http://www.town.minano.saitama.jp/es_kunikami/
e-mail kunikami@chichibu.ne.jp
児童数 男 29、女 22、計 51
学級数 普通 5、特支 2、計 7
教職員数 男 5、女 7、計 12

【施設】

教室数 普通7、特別6、計13
校地面積 10,778m²
校舎面積 1,712m²
運動場面積 4,310m²
体育館面積 947m²
プール面積 250m²

【教育目標】

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- じょうぶな子

【経営方針】

- ☆ありがとうがあふれ、一人一人のよさを認め、まごころと思いをもち、励まし、伸ばす
- 生きる力を育み、一人一人を伸ばす学校づくり
- 教職員が協働し、力を最大限に発揮できる学校づくり
- 「みな」の学を推進し、地域の教育力を生かし、体験活動を重視した学校づくり
- 家庭・地域と絆を強め、保護者や地域から信頼される学校づくり
- 安心・安全で教育環境の整った学校づくり

【重点】

1. 全職員の協力体制による組織を生かした学校運営の推進
2. 新学習指導要領に基づいた教育課程及び今求められている教育の実践
3. 教職員の資質の向上と働きやすい環境作り
4. 家庭・地域等と連携した健全育成「みな」の学」の充実
5. 教育環境の整備と充実
6. 体験活動の充実



【研究課題】

「表現する力を養う授業づくり」
～国語科・算数科の授業を通して～

【学校の特徴】

本校は、創立以来150年の歴史と伝統がある。平成14年度に日野沢小学校と、平成25年度に金沢小学校と統合した。日当たりのよい高台にあり、北側には宝登山、南東には荒川を隔てて蓑山（美の山）がそびえている。また、遠くに武甲山をはじめ秩父連山が一望でき、自然の懷に包まれた環境にある。

「健康教育」を教育の中核に据え、体力向上、むし歯予防、環境美化に努めている。平成元・2年度県教委による体力向上推進校の指定を受け研究発表を行うなどし、平成23年度には、埼玉県体力向上優良校に指定された。

むし歯予防では、「一生使おう自分の歯」を合い言葉に、文部科学省より平成3・4年度むし歯予防推進指定校となり研究発表を行った。それ以来むし歯予防の取り組みでは、「最もよい歯の学校」「よい歯の学校」などの賞を平成から令和に至るまで数多く受賞し、むし歯予防の伝統校となっている。環境美化活動においては、昭和55年度より学校園の植付けや一人一鉢の体験学習に取り組み、花壇コンクールでは平成3・4・5年度と連続最優秀賞を受賞している。

また、近年は体験活動の充実に努め、「学校応援団」活動の活性化に取り組んでいる。特に米作りやさつまいも栽培等の農業体験や秩父音頭についての体験等の活動は大きな特色であり、平成26年度・令和5年度には、埼玉県から「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞している。

本年度は、校内研究課題を「表現する力を養う授業づくり」とし、国語科・算数科の授業改善に取り組んでいる。特に教職員同士が自ら高め合える研修「ありがとうタイム(指導方法の報告会)」を通して、教師の指導力を高め、児童の学力向上を実現する。